

【事業実績】

柳川市内に点在する寺社と、柳川市を中心とする福岡県筑後地方の農業活動に繋がる史跡を、現地にてモバイルガイドとして利用できる形式をめざし、《城下町柳川と武家文化》を発見・体験できるテーマのもと、わかりやすく解説する Web 展示を、Google プラットフォームを利用して作成、多言語化し、さらに日本語・英語の音声ガイドを作成した。また、これまで作成してきたコンテンツについても多言語化・音声ガイド化を進めて充実させ、これらのコンテンツを誰もが活用しやすくするための web 目次を作成した。

1 Web 展示「城下町柳川がうんだミカン『宮川早生』」「城下町柳川-寺社編『柳川藩主立花家ゆかりの寺社』」の作成

- (1) 三者会議により内容を決定し、各施設学芸員が各解説文を作成することで、三者内での柳川文化資産データベースの共有が深まり、異分野の専門家が協議することで、わかりやすく効果的な解説文の表現が可能となった。
- (2) 英語解説文の作成にあたり、英語翻訳を担当する事務員との協議を実施し、日本語母語話者以外への補則解説を追加したが、これは他言語翻訳時にも有効であった。また、英語解説文で採用した簡易な表現を、学芸員が作成した各解説文に反映させてより分かりやすい表現を追求できた。

◎作成した解説や画像データは Google プラットフォームに登録され、今後はデータベースとしても活用される。

2 Web 展示「城下町柳川-寺社編『柳川藩主立花家ゆかりの寺社』」「城下町柳川がうんだミカン『宮川早生』」の多言語化および「近世大名立花家の名宝」の追加多言語化

- (1) 作成した Web 展示「城下町柳川がうんだミカン『宮川早生』」「城下町柳川-寺社編『柳川藩主立花家ゆかりの寺社』」を韓国語・中国語（繁体字・簡体字）へ翻訳、一部は英語解説から多言語化することを試み、日本語を介さない場合の翻訳精度について確認したが、いずれも日本語原稿の分かりやすさが不可欠であることが明確となった。
- (2) これまで作成・蓄積されてきた「近世大名立花家の名宝」を補足充実させるため追加して多言語化を実施
※想定される利用者数・観光案内ツールとして汎用性を考慮し、柳川市内の文化財を解説する「城下町柳川がうんだミカン『宮川早生』」「城下町柳川-寺社編『柳川藩主立花家ゆかりの寺社』」の多言語化を優先して実施した。

3 音声ガイド(日本語/英語)「城下町柳川-寺社編『柳川藩主立花家ゆかりの寺社』」「城下町柳川がうんだミカン『宮川早生』」の作成および「近世大名立花家の名宝」の追加作成 *別添の音声記録媒体を参照

- (1) モバイルでの活用が早急に望まれる Web 展示「城下町柳川-『柳川藩主立花家ゆかりの寺社』」「城下町柳川がうんだミカン『宮川早生』」の音声ガイドを作成。これらは Web 目次にて「城下町柳川」としてまとめて提示する。
- (2) 平成 30 年度作成の音声ガイド「近世大名立花家の名宝」を補足充実させるため追加して音声ガイドを作成

◎スマートフォン等モバイルで Google プラットフォームが利用でき、現地で文化財を見ながら音声ガイドを楽しめる。

◎Google プラットフォーム上の利点として簡易な補足・訂正が可能であるため、利用者の声を反映させた内容の充実が進められる。また動画も掲載可能であるため、これからは Web 展示の活用の範囲を広げる試みも実施する。

4 Web 目次《城下町柳川と武家文化》の作成

- (1) Google プラットフォームには利点が多いが、本事業の成果物へのアクセスが分かりにくいという課題があったため Web 目次を作成し、利用の促進を図るためのバナーを作成した。日本語話者以外は Web 目次のみでは情報が不足するため、周辺情報を含んだ形で多言語化している。

■利用者の感想

・柳川市内を歩きながらモバイルガイドとして利用できるのは、便利で使いやすい。

・ボランティアガイドを務める際に、より詳しい解説ができるようになった。多言語もあって助かっている。

→成果および今後の課題

本事業で作成して蓄積されてきたデジタルコンテンツは、Google プラットフォーム上で組み替えて、Web 展示を自由に作成できるため、テーマ・場面に合わせたモバイルガイドとして活用できる。今年度、Web 展示へのアクセスを改善した Web 目次を作成したので、これから Web 目次の周知・広報に努め、また利用者の声をコンテンツへ反映していきたい。



Web 目次バナー(日本語・多言語)